

ユウスゲ

Hemerocallis citrina Baroni var. *vespertina* (H.Hara) M.Hotta
ススキノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県では稀産種で、確認されている生育地は1地区のみで限定されている。開発の影響を受けるほか、動物による食害等が予想されるので県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

種の特徴

山地の林縁や草地にみられる多年草。葉は線形で長さ40～60 cm、幅5～15 mm。花茎は高さ100～150 cm、花期は7～9月。茎頂につぎつぎとレモンに似た淡黄色の花を咲かせる。夕方開き、翌朝しぼむ1日花である。種子は卵形、黒色、長さ5 mm内外。

分 布

本州～九州に分布する。県内では高浜町で確認されている。

生育を脅かす要因

海岸開発、道路工事、草地開発、自然遷移、獣害。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○														

ステゴビル

Allium inutile Makino
ヒガンバナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

産地や個体数が非常に少ない。採集された標本は4点のみ。生育地が里地・里山であるため、開発の影響を強く受ける。

種の特徴

野原に生える多年生草本。根生葉は線形、長さ約30 cm、夏に枯れる。地下に直径1～1.5 cmの鱗茎ができる。花期は9～10月。花茎は15～20 cm、花被片は6個、白色、緑色の中脈がある。

分 布

本州に分布。県内では嶺北の海岸沿いに分布する。

生育を脅かす要因

道路工事、土地造成、自然遷移。

参考文献 林弥栄ほか（2013）、福井県植物研究会（2001）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○										

ヤマラッキョウ

Allium thunbergii G.Don
ヒガンバナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県では稀産種である。生育地がごく限られ、個体数も少ない。奥越で採取された標本は50年程前のもの。嶺南の分布は海岸沿いであるため、開発やシカの食害で生育地が失われる可能性が非常に高い。

種の特徴

山地の草地に生える多年生草本。長さ2～3 cm、狭卵形の鱗茎がある。葉は円柱形、長さ20～50 cm、幅2～5 mm。花期は9～10月。花茎は高さ30～60 cm、茎頂に球状の散形花序がつく。花被片は紅紫色、雄蕊は花被片から突出している。

分 布

本州～琉球に分布。県内ではおおい町、若狭町、大野市、福井市で採集記録がある。

生育を脅かす要因

産地局限、シカ食害、海岸整備、自然遷移。

参考文献 門田裕一ほか（2013）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○														○	○